

# 平成 30 年度 大阪府立港南造形高等学校 第 1 回 学校運営協議会 議事録

日 時 平成 30 年 6 月 29 日 (金) 15 : 00 ~ 16 : 30

場 所 校長室

委 員 美濃 幸男 大阪樟蔭女子大学 参与 ※敬称略  
宮原 康 近畿大学 非常勤講師  
本田 妙子 大阪市教育センター 総括指導主事  
竹林 佳子 南港東第 3 振興町会 会長  
森川 雅子 大阪府立港南造形高等学校 P T A 役員

事 務 局 校長、教頭、事務長、首席、造形科長、各学年主任、教務部長、進路指導部長、  
生徒指導部長、保健部長、総務部長、生徒会主担

## 議 事 1 開会のあいさつ (校長)

昨年度までの「学校協議会」を発展させ、今年度より全府立学校で「学校運営協議会」に移行することとなった。本校は、運営協議会委員の全員、校長・教頭・事務長が入れ替わり、新たなメンバーでスタートする。

皆様ご承知のとおり、本校は「美術・工芸・デザイン」の専門高校です。美術を取り巻く環境が、年々厳しくなっている中で、将来、大阪、日本の美術を背負う人材の育成が本校の責務であり、この運営協議会を通じて、本校へのご支援を賜りたい。

## 2 委員紹介 (教頭)

## 3 議長選出 (教頭)

美濃 幸男 委員に決定

## 4 資料説明 (教頭)

## 5 報告

(1) 平成 30 年度「学校経営計画及び学校評価」について (校長)

(2) 平成 30 年度「港南造形高等学校の基本」(教職員全体で取り組んでいくもの) について (校長)

・以下の 4 点を今年度の取組みの柱としたい。

- 1 若手を中心とした教員力の向上
- 2 スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの指定獲得
- 3 広報活動の拡充
- 4 地震・大規模災害に向けた計画・準備

(3) 各部・科より報告

①教務部より

- ・年間行事予定
- ・教科書選定

②進路指導部より

- ・平成 29 年度卒業生の進路状況の報告

③造形科より

- ・昨年度は東京藝術大学をはじめ国公立大学に 2 桁の合格者があった。
- ・2 年生からデッサン講習を行い、実技入試に備えている。
- ・部活動は、高校展・芸文祭を取組みの柱にしている。

④生徒指導部より

- ・遅刻指導の徹底により、遅刻が大幅に減少した。
- ・ネットへの書き込みを指導している。

⑤生徒会より

- ・生徒主体の運営、活動をさせている。
- ・赤十字等のボランティア活動に数多く参加している。
- ・地域の清掃活動を実施している。

⑥総務部より

- ・受験生確保に向け、中学生、保護者へ情報発信を直接行い、学校説明会等に参加してもらう工夫をしている。中学生に学校を見てもらうことが第一である。
- ・昨年度より、9 月～11 月の水曜に個別の説明会を実施しており、効果がみられる。
- ・公式のツイッターを情報発信の一つとして活用しており、先日の大阪北部地震では、電話・メールが繋がらない中で、ツイッターを有効活用できた。

⑦保健部より

- ・大阪北部地震では、帰宅が困難になる生徒が多く、本校独自の対策をしていく必要がある。
- ・水・食料の備蓄を増やしていく対策を考えている。

⑧第 1 学年

- ・部活動への加入が多い。夏の「高校展（大阪府公立高等学校美術・工芸展）」へのエントリーも多数ある。
- ・欠席が続く生徒はみられない。

⑨第 2 学年

- ・昨年度は、3 名が転学、2 名が留年した。
- ・10 月に東京を中心とした関東方面へ修学旅行を予定している。
- ・生徒は落ち着いた状況である。

⑩第 3 学年

- ・入試対策として、学科や実技の講習を実施している。
- ・2 月実施の「港南展（卒業制作展）」は、会場を、ATC にある「大阪デザイン振興プラザ」に、作品規模やスペースを考慮し変更した。

## 6. 協議

- (議長) 報告の中で、「卒業制作展の会場を変えて実施する。」「広報活動で、中学生に学校を見てもらうことが第一である。」とあったが、この2点に絞り、議論を進めたい。
- (委員) 中学生、保護者にダイレクトに情報を届ける内容であるということだが、具体的にはどんな方策か。
- [事務局] HPの構成やデザインを、中学生や保護者が見やすく、わかりやすいものにリニューアルした。
- また、学校外で開催される「説明会」へ積極的に参加し、ツイッター等も活用しながら、中学生向けの情報発信を拡充している。
- (委員) 私自身、港南造形高校が取り組んでいる「大和川陶板ロード」の取組みに参加している。陶板制作のための設備や優れた指導者が整っている学校であることを、周囲にアナウンスしている。
- (議長) 港南造形高校は、今年度162の中学校から入学してきている。いわゆる、地域の中学校の進学者が多く占める“地元校”ではないので、学校説明会は中学生が自主的に申し込みをする形式が重要である。したがって、学校説明会の申し込み方法を、わかりやすいものにすることが大切である。
- [事務局] HPの学校説明会申し込み用フォームは、リニューアルしており、中学生にわかりやすいものに変更した。昨年度の学校説明会の申し込みは、モバイル利用の中学生本人からが95%、中学校を通じての申し込みは5%程度となっている。
- (委員) 大阪府北部の中学校にも宣伝はしているのでしょうか？ 4年ほど前のことになるが、進学相談した時、中学校はあまり港南造形を知らないという印象だった。
- (委員) 私も北部だが、中学校の先生は知っていた。しかし、中学校の先生は普通科の学校へ進学を進める傾向にあるように感じた。
- [事務局] 大阪府教員採用試験の中学校等の美術の実技試験は、本校が会場として使われているので、中学校の美術の先生は、本校のことを知っているはず。
- (委員) 天王寺近辺の中学生も、港南造形高校は少し遠いという印象を持っているようだ。極めて専門性の高い高校であるので、本人が迷われている場合は中学校の進路指導として港南造形高校への進学は勧めない。また、費用的にも一般の高校とは違い材料費等が必要なことを保護者に伝えるようにしていた。
- 先程の説明の中で、他校への転学者の件が出ていたが、内容を少し詳しく聞きたい。
- [事務局] もともと美術に興味があり本校に入学したが、実際に授業を受けてみて、専門性が高く、想像していたものとは違うと感じる生徒が若干名いる。
- また、自分と周りの生徒の興味・関心の度合いが違っていると感じて転校を希望する場合もある。
- (委員) 港南造形は学校説明会に参加したとき、中学3年生以外の生徒も一緒に参加していた。とても良いことだと思うので、もっとアピールしてもいいと思う。
- (議長) 中学生に少しでも学校を知ってもらい、人生の中で造形を楽しむ姿勢を養い、将来の仕事にも結び付けていく努力が必要だと思う。
- (委員) 私自身も陶芸教室でお世話になっており、港南造形高校はとても身近な存在。テレビや新聞に取り上げられることがよくあるので、とても嬉しい。
- 地域の催しにも、生徒さん達に参加してもらえたらと思う。
- (委員) 学校見学会に来た時、生徒会の生徒さんがとても楽しそうに取り組んでいる姿を

見て、“生徒が輝いている”と感じた。港南造形高校のとてもいいところだと思う。  
(議長) 今回様々な説明を受け、色々感じられたこともあると思う、それをまとめておく  
ことを、我々の次回までの宿題としたい。

#### 7. 開会のあいさつ (校長)

貴重な意見ありがとうございました。広報活動においては、個人レベルで伝えていただく、  
拡げていただくことが、情報化が進んだ現在では最大の宣伝効果がある。  
小学生や中学生にも、どんどん学校を見に来ていただけるようにしたい。  
こらからも“生徒が輝く学校”を続けていきたい。  
委員の皆様には、さらなるご支援、ご指導をお願いしたい。